

JAグループ鳥取・自己改革の実現に向けた特別決議 ～JA自己改革取組宣言～

「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」
～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～

これまで、これからも、総合事業を通じて組合員・地域に貢献します

JAは、農業者（正組合員）と地域農業の応援団（准組合員）で組織され、組合員一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、これまで農産物の販売や信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）等の様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じ、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んできました。

また、時代の変化にあわせたJA自己改革に取り組み、組合員・地域に寄り添いながら発展してきました。

JAグループ鳥取は、これからも「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けるために、『「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～』をスローガンに、以下の3つのあるべき姿の実現に向け、組合員、JA役職員のみならず地域と連携し、JA自己改革に邁進していきます。

1. 持続可能な鳥取県農業の実現をめざします

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けて、様々な事業における訪問活動での意見・ニーズの収集等、総合事業だからこそできる農業者支援を展開することで、生産基盤の強化や儲かる農業の実現をめざします。

2. 地域社会への貢献に取り組みます

「地域の活性化」に向けて、組合員との接点の最前線であるJA施設を中心とした総合事業機能の展開や農を通じた地域貢献活動に取り組みます。

3. 協同組合としての役割を発揮します

協同組合の理解促進と理念醸成に取り組むことで協同組合運動の仲間づくりにつとめます。そして、准組合員を地域農業の応援団と位置付ける等、「組合員のアクティブ・メンバーシップ※の確立」に向け、全ての組合員の皆さまへ出向き、対話を大切にした総合事業を展開する等、組合員、地域に寄り添った組織としての役割を発揮します。

以上、JA自己改革に取り組むことを宣言する。

平成31年4月26日
鳥取西部農業協同組合
第25回通常総代会

(※) アクティブ・メンバーシップ：組合員の積極的なJA事業・活動への参加

J A 鳥取西部 J A 自己改革の取組について

I. はじめに

1. J A グループ鳥取は2018年11月に第49回 J A 鳥取県大会を開催し、第48回大会を総括するとともに、大会決議（J A 自己改革）に沿って、2019年度から2021年度を J A 自己改革実践期間として取り組むこととなりました。

第48回 J A 鳥取県大会 スローガン	「食と農を通じて農業・地域を豊かに」 ～10年後に向けた農業・地域づくり～	第49回 J A 鳥取県大会 スローガン	「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」 ～夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざして～
実践に向けた 3つの柱	○ 持続可能な鳥取県農業の実現 ○ 地域社会への貢献 ○ 協同組合としての役割発揮	実践に向けた 3つの柱	○ 持続可能な鳥取県農業の実現 ○ 地域社会への貢献 ○ 協同組合としての役割発揮
3つの基本目標	① 農業者の所得増大 ② 農業生産の拡大 ③ 地域の活性化	4つの基本目標	① 農業者の所得増大 ② 農業生産の拡大 ③ 地域の活性化 ④ 組合員のアクティブ・メンバーシップの確立

2. J A 鳥取西部では、大会決議（J A 自己改革）に基づき「実践工程表」を策定し、その中でも特に組合として重点を置いている項目等を「**重点取組施策**」と設定し、組合員の皆さまの意見を聞きながら着実に実践し、評価され続ける J A をめざしていきます。

II. 第48回 J A 鳥取県大会決議（J A 自己改革）の実践結果（2016～2018年度）について＜総括＞

1. J A 鳥取西部では、「持続可能な鳥取県農業の実現」に向け、以下のことに取り組みました。

- (1) 管内主要農産物の試食宣伝を消費地にて実施し、有利販売をはかる
- (2) 大山ブロッコリーG I（地理的表示保護制度）登録
- (3) 日南トマト販売高2億円の達成

2. J A 鳥取西部では、「地域社会への貢献」に向け、以下のことに取り組みました。

- (1) 食農教育活動の強化と新たな消費者へのアプローチ
- (2) 親子ふれあい赤ちゃんハイハイレース開催
- (3) 人形・ぬいぐるみ供養感謝祭の実施
- (4) 地域のボランティア活動参加や災害時対応自動販売機の設置など

3. J A鳥取西部では、「協同組合としての役割発揮」に向け、以下のことに取り組みました。
- (1) ホームページのスマートフォン対応
 - (2) 准組合員・住民向けPR誌の発行による情報発信の強化
- ※ 具体的な内容は別冊資料のとおり

Ⅲ. 第49回J A鳥取県大会決議（J A自己改革）の取組（2019～2021年度）について＜計画＞

1. J A鳥取西部では、「持続可能な鳥取県農業の実現」に向け、以下のことに取り組みます。

- (1) 農業生産基盤の維持・強化
 - ① 後継者・新規就農者等新たな担い手の確保・育成
 - ② 集落営農組織等による農地の維持・活用
- (2) 農業生産力・所得増大への取組
 - ① 各品目における生産力強化
 - ② 直売所における販売力強化への取組
 - ③ 選ばれる鳥取西部ブランドの展開
 - ④ 新たな価値の創出と海外展開への挑戦
 - ⑤ トータルコスト削減への挑戦
 - ⑥ 労働力の確保
- (3) 様々な担い手に対応した支援・営農指導の実践
 - ① 様々な担い手への支援強化
 - ② 営農指導の充実に向けた職員教育の実施

役職員全員でJ A自己改革バッジ
を着用しています！



2. J A鳥取西部では、「地域社会への貢献」に向け、以下のことに取り組みます。

- (1) 生活基盤の維持・強化
 - 地域を支える活動の充実
- (2) 地域活性化につながるJ A活動の充実
 - ① 農を通じた食・環境への理解促進
 - ② 総合事業機能を活かした活動の展開

3. J A鳥取西部では、「協同組合としての役割発揮」に向け、以下のことに取り組みます。

- (1) 協同組合の理解と理念の醸成に向けた取組強化
 - ① 協同組合の理解促進への取組
 - ② 協同組合理念のさらなる醸成
- (2) 組織・経営基盤の強化
 - ① 組織・経営基盤の強化
 - ② 将来を担う人づくりと働き方改革

☆ J A鳥取西部では、第49回大会決議項目の実践を通じてJ A自己改革に取り組みます。

☆ 具体的な取組は、今後、広報誌で情報発信していきます。